

## 5-1 未来塾対応WG

### 1. 未来塾対応 WG の概要

#### (1) WG の活動目的

未来塾は、国交省と建コン協がフリーな意見交換を行う場としてスタートしたが、近年は、各地方ブロック意見交換会における「要望と提案」の内容の調整や様々な制度設計に関する課題解決に向けた協議の場となっている。

さらに、国交省において建設生産・管理システムの上流段階となる業務（計画や調査・測量・設計段階）やマネジメントに関する議論の場となる「発注者責任を果たすための今後の建設生産・管理システムのあり方に関する懇談会業務・マネジメント部会」への対応を行っている。この部会の審議事項は以下に示す。

- a) 入札・契約方式について
- b) 品質の確保・向上について
- c) その他、業務（計画や調査・測量・設計段階）やマネジメントに関する課題

#### (2) WG の構成（委員）

WG長は常任委員長、副WG長は常任副委員長、その他委員は各主要専門委員会等の委員長等10名で構成されている。

### 2. 主な活動の記録

#### (1) 未来塾対応 WG の開催実績

未来塾対応 WG は、定例常任委員会と同日に開催した（開催回数 10 回）。

#### (2) 未来塾会議の開催実績

6月26日及び12月21日に未来塾会議を開催した。その他、9月25日に事業促進PPPに関する協議を行った。

#### (3) 主な検討課題

令和5年度は、これまでの未来塾テーマの内、特に大きな課題である「納期の平準化」について集中的に議論した。

主な論点は次に掲げるとおりである。

##### a) 分析データの前処理の考え方

業務種別（支援、通年、支援・通年）の仕

分け方針

##### b) 様々な視点から見た納期の分布状況

業種区分、事業区分と契約時期及び納期（当初契約、変更契約）の関係について複数ケース（12ケース）の納期分布図を整理

##### c) 平準化の具体的な促進方策

3月納期集中の緩和を最優先とすることとする。特に変更工期が3月に集中しないよう適正な工期を確保する。また、「地整別」及び「計画系、設計系、観測等」分野別のデータで整理した上で、地整別又は分野別の平準化促進方策を検討する。さらに、通年業務の取り扱い（納期を半年ずらす）についても検討する。

##### d) 土木設計業務等変更ガイドラインの活用促進

土木設計業務等ガイドラインの受発注者双方の認知度向上と活用促進を図る。

### 3. 次年度の活動について

引き続き納期の平準化について、平準化の取組の効果の分析及びさらなる平準化促進方策の議論を進めるとともに、新たなテーマとして次に掲げる事項を検討する。

#### (1) 業務評定点の地方整備局格差の是正

#### (2) 入札契約制度に関する事項

- ・ 成果物の著作権について
- ・ 高度な技術又は優れた工夫を要するコンサルタント業務の価格について（品確法第 18 条、第 19 条）

#### (3) その他の問題

- ・ ECI 方式（設計業務）の価格等交渉/柔軟な設計変更
- ・ 新たな報酬形態（成功報酬）
- ・ 標準歩掛の改定
- ・ 低入札調査基準価格設定の改善

（未来塾対応WG WG長 天野 光歩）